

# ひろの

議会だより

復興元年の幕開け  
史上最大の予算で大きな一歩を踏み出す

平成24年度の新規・重点事業

④

議員月額報酬を20%カット(議員発議)

⑧

どうなる帰還後の生活 5議員が町政を問う(一般質問)⑰

元気なお返事、よくできました!

(広野小学校新入生)

No.113

平成24年4月20日発行  
福島県広野町議会

E-mail gikai@town.hirono.fukushima.jp

# を可決

## を乗せた“列車”が輝く未来へ走り出す



平成24年度一般会計予算採決のようす

### 町長施政方針

～基本施策は5つの柱～

- 除染の推進
- 生活環境の整備
- 産業の振興
- 保健福祉の充実
- 教育、文化の振興

平成24年度は、除染計画にもとづいた徹底した除染、津波被災地区の早期復旧、インフラ整備等、帰還に向けた環境整備に努め、限られた財源を最大限有効活用し、必要性・優先度を勘案した厳しい選択を行い、「第一次広野町復興計画」の実現に向け、5つの施策を基本として町政運営を進めます。



施政方針を述べる山田町長

## 24年度一般会計は 対前年比で291.3%増

平成24年3月定例会を3月8日から16日までの会期で開きました。

今回は、平成24年度予算を中心に、条例の制定や改正、補正予算案など、提出された33件の議案と議員発議1件を慎重に審議し、すべて原案どおり可決しました。

一般会計と6つの特別会計合わせて、140億5694万円となり、広野町はじまって以来最大の予算となりました。

歳入については、震災および原子力災害の影響により、町税収入が大幅に減少することが見込まれ、町債（借金）や財政調整基金（貯金）からの繰り入れによって不足分が補われます。

歳出については、除染や災害廃棄物の処理、教育施設整備やスクールバスの運行など復旧・復興への取り組みを最優先した予算編成となっており、町民帰還に向けた環境整備に努めるようにとの意見が多く出されました。

復興元年

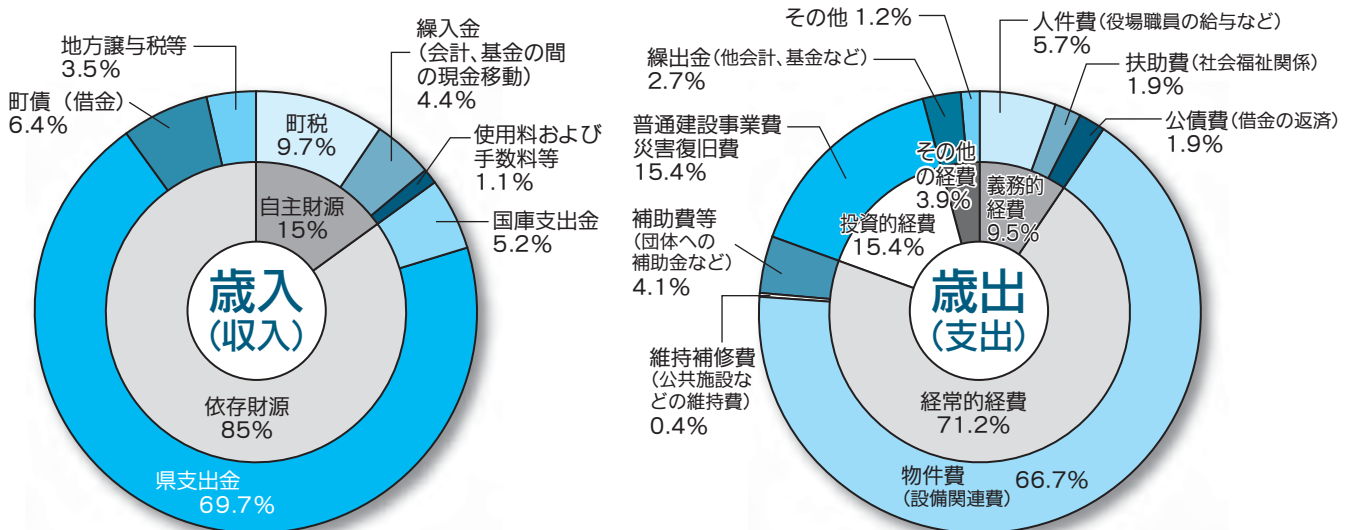
140億5694万円

夢と希望



復興への道は長く険しい でも広野町は決して負けない

### 平成24年度一般会計予算（126億3832万円）の割合



平成24年度  
新規事業・重点事業

クローズアップ

財政状況が厳しいなか、平成24年度もいろいろな新規事業や重点事業が実施されます。

ここでは、そのうち主な事業を紹介いたします。

## 復興祈念花火運営事業 500万円

東日本大震災の犠牲者の追悼と被災地である当町の復興に向け、花火を打ち上げます。



平成22年サマーフェスティバル



機種については、今後比較検討しながら決定します  
(写真の機種は参考です)

## 放射線量測定器購入事業 8552万円

町民帰還の促進に向けて、町民の放射能汚染に対する不安の解消と、安全・安心を確保するため、全世帯に放射線量測定器を配布します。

## 水稻放射性物質移行確認実証事業 400万円

町内40箇所、4ヘクタールの実証ほを設置し、町内産米のセシウム含有量の調査を行います。



昨年実施した小規模な実証実験

## 広野町除染対策事業 75億8657万円

広野町除染作業業務委託

- 戸建て 1620戸  
(平成23年度実施分を除く)
- 公共施設等 52件  
道路延長 117.3km
- 森林(生活圏) 42.7ヘクタール
- 農地 300ヘクタール



本格的な除染作業が始まった広洋台地区



疾病予防と健康づくりの推進に励みます

## 被災者健康支援事業 780万円

長引く避難生活で、運動不足や食生活の変化などにより、生活習慣病の発症や悪化が心配されるなか、これらを予防、防止するため、保健師、心理士、管理栄養士等による保健指導や訪問活動の充実をはかります。

## スクールバス運行事業 1億395万円

いわき市内に再開した小中学校に通学する児童生徒を対象に、スクールバスを運行します。

なお、2学期から再開する本校舎へ通学する児童生徒に対してもスクールバスの運行を実施します。



スクールバスで通学する児童

# こんなことが決まりました

## 固定資産税などが 減免の対象に

24年度町税等の減免および  
納期に関する条例を制定

東日本大震災および  
原子力災害による被災  
者に対し、平成24年度  
の固定資産税、軽自動  
車税、国民健康保険税、  
介護保険料を減免する  
ための条例制定案が提  
出され、全会一致で可  
決されました。

### ～主な内容～

減免される税目	減免率	対象者等
固定資産税	1/2	全町民
	課税免除	津波で家屋に甚大な被害のあった地区
軽自動車税	課税免除	農耕用車両および警戒区域内に置き去りにされた車両（これ以外は通常課税）
国民健康保険税	課税免除	昨年3月11日に当町に住所を有していた方
介護保険料	課税免除	昨年3月11日に当町に住所を有していた方



### 海浜公園30年の歴史に幕

東日本大震災により  
広野海浜公園が甚大な  
被害を受け、再開が極  
めて困難なことから、  
これに係る管理条例を  
廃止しました。



津波で大きな被害を受けた地区の固定資産税は免除されます

会計名	予算額	前年比	採決の状況
一般会計	126億3832万円	94億 877万円	全員賛成で可決
国民保険特別	6億6182万円	8161万円	
土地開発事業特別	1億1881万円	9870万円	
公共下水道事業特別	2億 300万円	▲2883万円	
農業集落排水事業特別	3009万円	▲59万円	
介護保険特別	3億6713万円	1947万円	
後期高齢者医療特別	3774万円	▲17万円	
合計	140億5694万円	95億7895万円	

※金額は、全て千円未満を切り捨てて表示しています

## 24年度

## 町の運営費 と財政事情

# 広野町社会福祉協議会を 指定管理者に

「老人福祉センター」と「広桜荘」

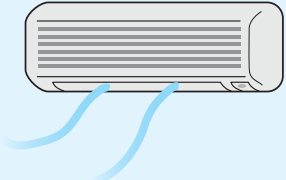
指定期間の満了により、平成24年4月1日から平成27年3月31日までの3年間、広野町老人福祉センター、広桜荘の管理運営を行わせる指定管理者として、引き続き社会福祉法人広野町社会福祉協議会を指定しました。

# 小学校空調設備設置工事は 常磐開発(株)が落札

2学期からの本校での再開に向け、各教室等へ空調設備が設置されます。  
同社との工事請負契約の締結を承認しました。  
なお、幼稚園と中学校でも同様の工事が実施されます。

入札の結果、常磐開発(株)が落札し、仮契約が締結されたため、

<b>工事の名称</b>	: 広野小学校空調設備設置工事		
<b>工事の場所</b>	: 広野町中央台三丁目1番地内		
<b>工 期</b>	: 着工	平成24年3月14日	
	: 完成	平成24年7月31日	
<b>工事代金</b>	: 1億1844万円		
<b>請負業者</b>	: 常磐開発(株)		
<b>工事概要</b>	: 小学校分		
	空冷ヒートポンプエアコン	51台	
	給食センター分		
	空冷ヒートポンプエアコン	6台	
	給気ファン(フィルター付)	3台	



地方債残高(町の借金) 平成23年度末見込	
地方債(一般会計)	26億1560万円
広野町下水道事業債	16億3890万円
農業集落排水事業債	3億1883万円
合 計	45億7333万円
<b>町民1人あたりの借金</b>	<b>約86万円</b>

基金・積立金残高(町の貯金) 平成23年度末見込	
財政調整基金	5億5553万円
電源立地促進対策交付金施設維持基金	2億8165万円
奨学資金貸与基金	8290万円
文化およびスポーツ振興基金	6684万円
ふれあい福祉基金	1億2553万円
震災復興基金	3億8707万円
その他の基金の計	3億3054万円
合 計	18億3006万円
<b>町民1人あたりの貯金</b>	<b>約34万円</b>

平成24年3月31日現在 5277人をもとに算出しています。

## 議員発議

## 議員の月額報酬を

20%

## 削減

昨年の6月定例会で、議員の月額報酬を10%削減することに全会一致で可決され、期間は平成23年3月31日までとなっていました。

未曾有の大災害から1年が経過し、今なお多くの町民が不自由な避難生活を過ごしているなか、議員自ら身を削り、少しでも町の復興・復興に役立てようと、議員の月額報酬を20%削減する議案が提出され、全会一致で可決されました。



提出理由を説明する坂本議員

提出者 坂本紀一  
賛成者 小磯利雄  
賛成者 門馬 巧

なお、期間については、平成27年11月30日までです。

## 23年度一般会計

## 最終補正で総額1億2344万円を減額

会計名	補正額	補正後の予算額
一般会計	▲1億2344万円	66億5524万円
国民健康保険特別	8206万円	8億621万円
土地開発事業特別	▲1376万円	906万円
公共下水道事業特別	▲1億8853万円	12億311万円
農業集落排水事業特別	▲330万円	2737万円
介護保険特別	▲3032万円	4億6108万円
後期高齢者医療特別	▲2132万円	1740万円

※金額は、全て千円未満を切り捨てて表示しています

今回の補正は、主に予算確定等による最終調整と、災害等廃棄物処理事業における本年度分の事業量の確定等による減額でした。

これにより、一般会計は歳入歳出それぞれ1億2344万円を減額し、総額で6億5524万円となりました。



3月定例会  
質疑

# 英知を結集して 魅力ある町づくりを要望

東日本大震災と原発災害にともなう町の対応や、復旧・復興、さらには帰還に向けた取り組みについて、議員からさまざまな意見や要望が出されました。  
その中の一部をご紹介します。

**渡辺久長議員** テレビ等で福島県内の放射線量が随時公表されていますが、当町については、国のモデル事業により除染を実施した場所の線量が公表されています。

今後始まる本格的な除染を前に、町全体の線量が低いと誤解を招

きやすいため、除染を実施していない場所のデータを公表すべきではないですか。

**山田町長** 公表されるデータについては除染前なのか、除染後なのかを明記する必要があります。

## 誤解を招かない情報提供を

**畑中大子議員** 全国から寄せられた多くの支援が、どのような団体や個人から寄せられているものなのか、広く町民に知らせるべきではないですか。

**青木総務課長** 「広報ひろの」等を活用してお知らせをしています。支援者によっては、公開しないでほしいという申し出もあり、全てを公開することは難しいと考えています。



役場敷地内に設置されているモニタリングポスト

## 町の賠償請求に関する考えは

**遠藤智議員** 昨年発生した未曾有の大震災と原発事故の影響で、町は予算編成にも非常に大変な時期を迎えています。

他の町では、国や東電に対し賠償を求め、取り組みをしています。当町は賠償に関してどう考えていますか。

**青木総務課長** 賠償金額については、まだ確定していませんので、請求金額が算定できない状況にあります。

## 誰から支援を受けたのか

## 二ツ沼総合公園内の 指定管理の実態は

**黒田政徳議員** 二ツ沼

総合公園は、原発事故の収束に向けた企業等に施設や土地を貸していますが、震災前と比較すると指定管理する場所等が限られ、当然委託料も下がっていると思いますが、現在は具体的にどこを管理しているのですか。

**中津企画グループリーダー**

公園の管理をはじめ、パークゴルフ場、フラワーパーク、清明館、リフレッシュ施設、ふるさと広野館の6つの施設等について指定管理を行っています。委託料については、前年度との比較で約2500万円が減額されています。



東電関連企業の事務所が建ちならぶ二ツ沼総合公園



除染作業に関する住民説明会（公民館大会議室）

## 一貫した除染工程を示せ

**渡邊正俊議員** 除染に

関する工程表は、昨年12月に配布された「広野町除染計画」で示す工程表と、今年2月に配布された工程表、また上北迫地区を対象とした説明会で配布された工程表のそれぞれ違うのはなぜですか。

**松本除染対策グループリーダー**

昨年配布した工程表は計画段階のものであり、その後委託業者が決まり、2学期から学校が再開することを念頭に詳細な打ち合わせを行った結果、人数を増やして除染を進めることで工期が短縮できるということから、工程表の見直しを行いました。

## 新しいグループの業務内容は

**塩史子議員** 町長の施

政方針で、建設課内に新しいグループを設けると述べましたが、どのような業務を行うグループなのか。

**山田町長** 新年度から、

かつて抱えたことのない大規模な復興事業を早急に進めていくため、主に復興事業のハード面を担うグループを設置したいと考えています。



津波被災地区を中心に復興事業を担当します（下浅見川地区）

## 介護予防に力を注げ

門馬まりえ議員 前年

度と比較して介護予防に関する予算が減少していますが、高齢者の介護予防事業に力を入れていくべきではないですか。

渡辺町民保健グループリーダー

震災前から比較すると要介護支援者数が増加傾向にあり、介護予防事業を精力的に実施していきたいと考えています。

## 大吹地区の宅地分譲方針は

門馬巧議員 大吹地区

の宅地（8区画）について、今後どのような分譲をしていくのですか。

中津企画グループリーダー

現在確定測量と不動産鑑定を行っており、平成24年度当初の分譲に向け作業を進めています。

なお、津波被災および震災により家屋が倒壊した方を優先し、空き区画があった場合は、町民ならびに町外に向けての分譲をしていきたいと考えています。

## 仮置き場の発注計画が甘かったのではないか

坂本紀一議員 3月に

入ったからの雪や雨が多かったのは確かですが、7500万円の工事が、1ヶ月で完了できないことは、当初の段階で十分予測できたのではないですか。

山田町長 指導力不足

であり、工期の考え方が甘かったと思っています。今後は十分注意しながら1日も早く完成ができるよう、指導・指示をしていきたいと考えています。



みんなで楽しく健康づくり（中央台高久集会所）

## 健康優良者に表彰を

北郷幹夫議員 国民健康

保険の加入者で、1年間病院等の診察を受けなかったなどの健康優良者に対して、表彰や記念品の贈呈などを実施する考えはありませんか。

渡辺町民保健グループリーダー

当町は「高額医療の町」であることから、健康を保っている方に対して、表彰等を行っていききたいと考えています。



工期が延長された仮置き場整備工事（下北迫・東町）

# 会報告

## 状況を報告します。

平成24年2月8日 開催

平成24年2月9日 開催



## 災害公営住宅

地震や津波などの災害によって住宅が「全壊・大規模半壊・半壊」と認定され、やむを得ず住居を解体した居住者が入居可能で、通常の公営住宅とは違って、入居への各要件は課せられません。

総務文教

## 耐

震性に配慮し工期内の完成を

幼・小中学校教育環境改善への  
取り組みについて

当町では、園舎や学校施設をはじめ、子どもたちが利用する施設等を優先的に除染を進めており、国が実施している除染実証試験モデル事業も3月上旬に完了するとの説明を受けました。

また、大地震の影響による施設の復旧工事については、幼稚園・小学校・中学校・給食センターともに、3月末で工事が完了するとの報告を受けました。

当委員会としては、災害復旧工事の進捗状況が教育施設によって異なることから、工期内完成の徹底と、今後新しく設置される空調設備の設置方法については、既存施設の耐震性に十分配慮するよう提言しました。

総務文教

## 帰

還を進めるために早期整備を

町営住宅入居再開に向けての  
対応について

震災等による町営住宅の被害は、浜田住宅が「全壊」と認定されましたが、その他の住宅については大きな被害はなかったとの報告を受けました。

また4月には、再入居への意思確認を改めて実施し、現在減免措置を講じている住宅使用者に対しては、再入居への意思確認を改めて実施し、帰還を進めるよう求めました。

# 委員

## 常任委員会の活動

総務文教常任委員会  
産業厚生常任委員会



来年こそは みんなで作付しよう

産業厚生

# 24

## 年産米の作付けは自粛

平成24年農作物の作付けに向けての  
取り組みについて

当町は、平成24年産米の作付けに向け、農地の除草や作物のモニタリング等を実施してきました。

国が作付けの制限としている1キログラム当たり5000ベクレルを超える農地はありませんでしたが、24年4月1日からは、米に含まれるセシウムの基準が100ベクレルとなり、昨年実施した実証田の一部から、新基

準を超えるセシウムが検出されています。

この他にも諸事情が多々ある状況を踏まえ、平成24年産米の作付けは自粛したいとの説明を受けました。

当委員会としては、作付けの自粛は止むを得ないが、25年こそ収穫の喜びに浸れることができるよう、本年も除染等の諸施策を最大限実施するよう提言しました。

産業厚生

# 個

## 人負担を減免

広野町宮災害復旧事業に要する経費の賦課徴収に関する条例施行規則について

当町では、災害復旧事業にかかる経費の賦課徴収（個人負担）は、国などの補助事業で実施した場合、工事費から国庫補助金を減じた経費の100分の50となっています。

また、町が単独で実施した場合は、工事費の100分の20の経費を賦課することになっていますが、今回の大

震災に限り賦課徴収を見合わせたいとの説明を受けました。

当委員会としては、減免等の措置を講じている他の公租公課との兼ね合いや、町民福祉の観点からも大いに評価できるものですが、施行にあたっては、明確なルールの下に実施するよう求めました。

例えば、復旧工事の経費が100万円だった場合・・・

事業種別	工事費	国負担額	町担額	個人負担
補助事業	100万円	50万円	25万円	25万円
町単独事業	100万円		80万円	20万円

・・・今回の震災による影響のものに限り個人負担はゼロ

# 東日本大震災災害復興に関する 特別委員会経過報告

平成23年12月20日 開催  
平成24年1月25日 開催  
平成24年2月27日 開催



汚染廃棄物の搬入状況を確認する委員（下北迫字東町）

## 汚染廃棄物仮置き場等を視察

平成24年2月27日に  
開催した特別委員会終  
了後、総合グラウンド  
の表土除去や町内2カ  
所に建設中の仮設住宅、  
さらには汚染廃棄物の  
仮置き場の整備状況を  
視察しました。  
現場では、担当者か  
ら詳細な説明を受け、  
全ての現場で安全かつ  
適正に作業が進んでい  
ることを確認しました。



## 広野町復興計画

「笑顔が輝く子ども  
たちの歓声が聞こえ、  
みんなでつくる夢と自  
然あふれるまち広野」  
の実現に向けた町づく  
りを確認しました。

## 災害復旧計画

津波災害地復旧計画  
をはじめ、公共下水道  
や農林水産施設などの  
災害復旧計画について、  
困難な状況にはあるも  
の計画に沿って的確  
に推進するよう提言し  
ました。

## 住宅施策

集団移転推進事業や  
町内建設の仮設住宅、  
さらには災害公営住宅  
の早期建設に着手する  
よう要望しました。

また、常磐高速道路  
を含む交通網の整備を、  
国に求めるよう要望し  
ました。

## 除染実施計画

除染作業を実施する  
際は、可能な限り立ち  
会いを求め、住民の理  
解を得ること。

また、農地の除染に  
についても検討し、徹底  
した除染を行うよう要  
望しました。

## 今年の作付け方針

町の「作付け自粛」  
の判断を受け、農業施  
設の復旧や水田保全の  
ための情報提供など、  
適正な管理を行うよう  
要望しました。

また、作付け実施の  
有無に関わらず、風評  
被害があった場合は国  
に賠償を求めるよう提  
言しました。

## 第1回臨時会

1月25日開催

# 債務負担行為の限度額を70億円に



表土除去による除染作業（総合グラウンド）

町内の除染作業を本格的に取り組むため、業務委託にともなう※債務負担行為の限度額を70億円と定めることに、全会一致で可決しました。

### ※債務負担行為

地方公共団体が建設工事をしたり土地を購入する場合、数年度にわたり債務を負担する契約を結ぶなど、将来の財政支出を約束する行為で、予算として定めます。

## 第2回臨時会

2月17日開催

仮置き場整備工事の入札が2月8日に実施され、(株)山田組が落札し2月9日に仮契約が締結されました。工事請負代金は、消費税込みで7507万5000円であり、工事請負契約の締結を全会一致で承認しました。

### (株)山田組と契約を締結 仮置き場整備工事は

### 支所から出張所へ

3月1日より役場機能の一部を残し、湯本支所から広野町役場本庁に戻すことにより、支所から「出張所」と

しての業務内容に改めるため、広野町役場湯本出張所設置条例を制定することに全会一致で可決しました。

工事の名称：広野町汚染廃棄物仮置き場整備（その2）工事

工事の場所：広野町大字下北迫字東町地内

工期：平成24年2月18日  
平成24年3月15日

工事代金：75,075,000円（消費税込み）

工事概要：掘削工 16,058.5㎡  
盛土工 12,149.0㎡  
残土処理 2,559.6㎡  
仮置き場底部工  
遮水シート5,212.9㎡  
張芝（人工芝）1,864.3㎡  
沈砂池工 1.0基 ほか

追跡  
レポート

## あの質問 どうなった？

議員の質問・提言に答える町執行部、その答弁がその後どうなったのか？ どう町政に反映させているのか、対応を追跡しました。

●平成23年9月定例会 ●一般質問

北郷 幹夫 議員 塩 史子 議員

一般住宅の  
除染対策はいかに

室内の除染は、自らが除染を行うことになると思いますが、「除染マニュアル」等を作成し、町民へ配布すべきではないですか。

除染作業の適切な  
指導を急げ

きめ細かい除染作業の方法をマニュアル化し、早急に適切な指導をすべきではないですか。

## 除染マニュアルを作成し配布する

除染作業における留意事項や基礎知識などを取りまとめた冊子を作成し、町民の皆様に周知します。

放射性物質に関する説明と  
室内清掃マニュアル(第1版)を作成

「放射性物質に関する説明と室内清掃マニュアル(第1版)」を平成24年2月20日に発行し、町内全世帯に配布されました。



町内全世帯に配布されたマニュアル

一般質問は、公の場である議会で、議員が議題に関係なく、町長の考え方や町政の執行状況について事実の説明を求めたり、所信を問いただすものです。

一般質問席（広野町議会議場）





遠藤 智 議員

## 実施困難者に対する除染体制を構築すべし

山田町長／民間支援の協力体制が必要不可欠

**遠藤**

室内除染については、高齢者などの実施困難者に対して、民間支援の協力に基づいた除染体制を構築すべきではないですか。

**町長**

実施困難者に対しては、ボランティア等による民間支援の協力が必要であり、東京電力と支援体制の構築をはかっていきます。

## 学校給食を無料化に

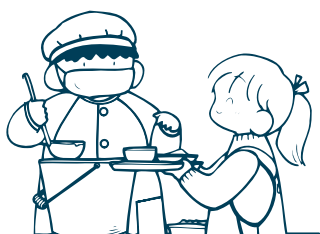
芦川教育長／就学援助事業で全額援助する

**遠藤**

学校給食を再開し、放射能の測定と食材産地の公表に努め、無料化にすべきではないですか。

**教育長**

食品放射能測定器を整備し、調査・公表に努め、24年度も就学援助事業のなかで、給食費の実費全額を援助していきます。



## 放射線に対する教育指導体制を

芦川教育長／組織的・計画的に取り組む

**遠藤**

当町の放射線に対し、健康と安全を優先とした指導体制を構築すべきではないですか。

**教育長**

放射線や防災について正しい知識を身につけ、状況に応じた確かな判断で行動できる能力を育てるため、教育活動全体を通じて防災教育に取り組んでいきます。

## 緊急避難マニュアルを作成せよ

山田町長／早急に作成し配布する

**遠藤**

①帰還に向けた取り組みとして、外部・内部被災に関する説明会を継続的に開催すべきではないですか。

**町長**

①専門家による講習会・講演会を継続的に開催していきます。

②除染をしても線量が下がらない建物等は、リフォーム代を財物補償として原子力損害賠償紛争審査会へ求めるべきではないですか。

②具体的な補償内容が示されていない状況ですが、不利益を受けないよう引き続き県を通じて強く要望していきます。

③非常事態における防災広報無線のあり方や避難ルート・場所等を示した緊急避難マニュアルを策定すべきではないですか。

③情報通信設備や衛星携帯電話などの整備に努め、緊急避難マニュアルを早急に策定し、配布したいと考えています。

# 1年間の総括と復興への決意は

## 山田町長／不転の決意で最大限努力する

**北郷** かつて経験したことのない

大地震と大津波、さらには原発事故によって避難生活を余儀なくされたから1年が経過しました。

また、第一次広野町復興計画で掲げた4つの基本方針の実現に向け、不転の決意で最大限の努力をしています。

今後の災害時に対応するためにも、1年間の総括と復興への取り組みについて町長の決意を伺います。

**町長** 津波対策や避難誘導は適切

であったのか、避難先も確保できないまま発令せざるを得なかった避難指示、避難後の対応などをしっかり総括し、今後の防災対策に取り組んでいきます。



北郷 幹夫 議員



心労を極めた避難所生活（瑞沼市民センター）

# 町民の健康管理を定期的・長期的に行え

## 山田町長／検診体制を早期に構築していく

**北郷** 県では、健康管理を長期に

わたって見守り、将来の健康増進を目的に県民健康調査等を実施しています。

当町においても、全町民を対象とした内部被ばく検査やがん検査を定期的・長期的にわたり実施すべきではないですか。

**町長** 当町においても、各種健康調査を実施中ですが、

町民の健康管理は重要な課題であり、今後は県や地元医療機関との連携をはかり、検診体制を早期に構築していきます。



各仮設住宅の集会場等で実施している巡回訪問



塩 史子議員

## 各種計画の見直しを行え

山田町長／県との調整をはかりながら策定する

**塩**

町には町勢振興計画をはじめ、地域防災計画・水防計画等さまざまな計画が策定されていますが、今回の大震災と原発事故で経験したことを多いに活かし、見直すべきではないですか。

**町長**

今回の大震災と原発事故で生じた新たな課題等に対処し、早急に復旧・復興に取り組むため、第一次広野町復興計画を策定しました。

また、原子力防災計画、水防計画等については、国の防災計画等の見直しを受け、県において調整が行われており、県の防災計画等を見直し状況を注視しながら、所要の修正作業を進めていきます。



再開が待たれる保育所

## 震災・原発事故を検証し記録を後世に

山田町長／可能な限り検証し記録として残したい

**塩**

痛ましい大震災と原発事故

から1年が経過し、当時の状況が徐々に明白になってきました。

帰還を向かえるにあたり、1年間の検証をし、記録として残すべきではないですか。

**町長**

当時は、情報網等が破断さ

れ混乱の中で対応であったため、記録も乏しい状況ですが、今回の事故とそその対応をしっかり検証し、今後の防災対策に取り組んでいきます。

## 保育所・幼稚園・児童館の再開はいつ

山田町長／24年度2学期から再開する

**塩**

小・中学校の再開について

は、24年度の2学期からと決定していますが、保育所・幼稚園・児童館は、いつ再開するのでしょうか。

**町長**

小・中学校の2学期再開に

合わせ、開所、開園する予定であり、今後も再開に向けての周知や説明会を実施していきます。

## 線量計はいつ配布するのか

山田町長／新年度速やかに発注・配布したい

**門馬** 当町に役場機能  
が戻り、広

野町復興計画に基づく  
さまざまな取り組みに  
ついて伺います。

①放射線の健康に対  
する影響についての研  
修会は、具体的に計画  
されていますか。

②各家庭に配布され  
る線量計は、いつ頃で  
すか。

③町内の防災行政無  
線が聞きとれない地域  
がありますが、点検す  
べきではないですか。

**町長** ①3月18日に  
「放射線と健

康」と題した講演会を  
予定しています。

また、24年度も専門  
家による研修会や講演  
会を継続的に開催して  
いきます。

②新年度速やかに発  
注し、町内全世帯に配  
布します。

③町内全33箇所<sup>※</sup>の  
パンザーマストを総点検  
し、津波被害のあった北  
釜、本町の2箇所以外  
は、復旧作業が終わり  
正常に稼働しています。



将来にわたって子どもたちの健康管理を

## 健康管理手帳で自己管理できる体制を

山田町長／県民健康調査ファイルを活用していきたい



門馬まりえ 議員

**門馬** 町民の健康管  
理について伺  
います。

①子どもの甲状腺検  
査は何人実施し、今後  
どのように管理してい  
くのですか。

②子ども達の将来を  
見据え、20歳を過ぎた  
らがん検診を受けられ  
る体制を構築すべきで  
はないですか。

③放射線に関する学  
習を小・中学校から学  
び、また健康管理手帳  
を持たせ自己管理がで  
きる体制を構築すべき  
ではないですか。

④町内で生活してい  
る町民について、年代  
別に把握しているのか、  
また今後の保健サービ  
スについて検討してい  
ますか。

**町長**

①3月からい  
わき地区で実  
施している先行検査の  
申し込み人数は、3月  
7日現在で818人で  
す。

結果については県で  
一元管理し、平成26年  
4月以降は本格検査と  
して、20歳までは2年  
ごと、それ以降は5年  
ごとに検査を行い、生  
涯にわたり健康を見守  
ることになります。

②当町が実施してい  
る健康診査等で、胃が  
ん、大腸がんをはじめ  
各種がん検診を実施し  
ていますので、より多  
くの方に受診して頂く  
よう努めていきます。

③県で実施している  
県民健康調査では、生  
涯にわたり健康を管理  
するために、検査結果  
を個人で記録・保管す  
るファイルが配布され  
ますので、それらを活  
用したいと考えていま  
す。

④安否確認情報によ  
り年代別に把握してお  
り、合計252人が町  
内に居住しています。  
また、高齢者や乳幼  
児がいる世帯に対して  
社会福祉協議会等と連  
携し、家庭訪問や健康  
相談等も実施したいと  
考えています。

※パンザーマストとは  
防災行政無線機などを設置する柱



畑中 大子 議員

# 帰還後の安全管理はいかに

山田町長／緊急避難マニュアルを早急に策定する

**畑中**

①除染をしてもらえない場所については、帰還をどう示すのですか。

②帰還してから再び原発事故が起きた場合の想定や、国や県からの情報入手、避難誘導等をどのように考えていますか。

**町長**

①帰還については、それぞれが考える安全の目安が異なることから、帰れる人から段階的に帰還を開始して頂きたいと考えています。

②帰還後の方が一を想定し、災害に強い情報伝達網の整備をはかり、具体的な避難行動や場所を示した緊急避難マニュアルを早急に策定していきます。

## 引越越し費用に補助を

山田町長／少しでも町民負担を軽減したい

**畑中**

帰還する際、日本赤十字から支援があった家財道具などを運ばなければなりません。引越越し費用にかかる負担をなくすべきではないですか。

**町長**

帰還する際の引越越し費用は、公募によるボランティア団体を組織し、引越越しを手伝い、町民の負担を軽減していきます。

## 保育料負担の軽減をはかれ

山田町長／24年度末まで全額減免する

**畑中**

平成22年度の税制改正により、所得税、個人住民税の額と連動して保育料の負担が増える場合がありますが、町として軽減をはかるべきではないですか。

**町長**

震災以降、就業状況が悪化し、児童保護者の所得も低下しているものと考え、平成24年度末まで全額減免することにしていきます。

## 情報公開についてアンケートを実施せよ

山田町長／実施する考えはない

**畑中**

借り上げ住宅は、仮設住宅と比較し、支援や情報が少ないため、支援団体に個人情報を提供してよいかアンケートを実施すべきではないですか。

**町長**

借り上げ住宅居住者には、支援物資や日用品等を直接送付して支援してきたところです。また、個人情報開示については、支援団体の全てが良心的な団体とは限らないため、現時点でアンケートを実施する考えはありません。

## 適格な時期に指示が出せる体制を

山田町長／県の医療活動マニュアルに基づき対応する

**畑中**

町では、ヨウ素剤を4000錠保管しているのですが、適格な時期に配布、飲用できるようにすべきではないですか。

**町長**

医療や消防関係者による連絡会議の検討を踏まえ、福島県緊急時医療活動マニュアルが見直されるので、そのマニュアルに基づき対応していきます。

### 【その他の質問】

**畑中**

災害公営住宅に減免制度を

**町長**

慎重に検討していく

# 国・県および東京電力(株)へ 要望書・要求書を提出

平成24年2月1日から2日にわたり、野田総理をはじめ関係省庁の各大臣や議員に要望書を、また東京電力(株)に対しては、要求書をそれぞれ手渡しました。

3月5日には、県知事をはじめ、関係部署にも要望活動を実施しました。

この活動は、昨年9月にも実施しており、議員からは除染、雇用問題、農産物の風評被害など、帰還へ向けたさまざまな課題についての意見が相次ぎました。



細野大臣に要望書を手渡す鈴木議長

## 要望書

(国提出の要望書要約)

- 1 原発事故前の空間放射線量に近づけるため、徹底した除染を全て国庫負担で行うこと。
- 2 放射性廃棄物の仮置き場については、用地取得費をはじめ、それらに係る一切の経費は国庫負担とすること。
- 3 今後、広野町で収穫される農産物等が風評被害等により販売できなかった場合は、国の責任で対処すること。
- 4 広野町における生活環境が、原発事故以前の状況になるまで東京電力(株)はもとより、国の責任で全額賠償すること。
- 5 緊急時避難準備区域復旧計画にもとづき、町内各所にモニタリングポストを早急に設置すること。
- 6 警戒区域内にある4高等学校に代わる学校を、いわき市内に開校すること。
- 7 医療費の一部負担金等の免除を避難生活が終了するまで延長し、18歳以下の子どもたちは、医療費の無料化を制度化すること。
- 8 復興交付金等の運用は、申請行為をはじめ弾力的に対処すること。
- 9 雇用の場の確保と福島県民の放射線による健康管理を行うため財団法人国立がん研究センター分院を当町に設置すること。
- 10 双葉郡内住民の雇用の場の確保のため、新エネルギー(太陽光、風力、バイオマス)機器製作工場を当町に誘致すること。

### 【国関係要望書提出先】

#### 内閣総理大臣

野田佳彦  
総務、沖縄、北方担当大臣

#### 農林水産大臣

川端達夫  
鹿野道彦  
枝野幸男  
環境、原発担当大臣

#### 経済産業大臣

細野豪志

### 復興対策担当、防災大臣

平野達男

#### 文部科学大臣

平野博文

#### 財務大臣

#### 民主党政幹事長

#### 官房長官

#### 内閣官房副長官

#### 農林水産副大臣

筒井信孝

### 経済産業副大臣

松下忠洋

#### 文部科学副大臣

奥村展三

#### 東日本大震災復興対策特別委員長

#### 増子輝彦

#### 東日本大震災復興対策本部福島現地本部長

#### 吉田 泉

#### 福島県選出衆議院議員

#### 参議院議員

### 【要求書提出先】

東京電力(株)取締役社長  
西澤俊夫

内閣総理大臣  
野田佳彦殿

## 要望書

(東日本大震災に関する要望)



東北に春を告げるまち

福島県双葉郡広野町

# 全町民の「願い」を届ける

～被災地に希望の光を～

## 要望書

(県提出の要望書要約)

- 1 町民が安心して生活ができるよう、町内全域の徹底した除染を県の基金で行うこと。
- 2 放射性廃棄物の仮置き場については、用地取得費をはじめ、それらに係る一切の経費は全額県の基金で対応すること。
- 3 今後、広野町で収穫される農産物等が風評被害等により販売できなかった場合は、県の責任において国に要求すること。
- 4 広野町における生活環境が、原発事故以前の状況になるまで東京電力(株)はもとより、国の責任で全額賠償するよう強く要求すること。
- 5 緊急時避難準備区域復旧計画にもとづき、町内各所にモニタリングポストを早急に設置すること。
- 6 東日本大震災による災害廃棄物および汚染廃棄物等の減容化施設を早期に設置すること。
- 7 災害公営住宅の建設および優良宅地造成を県の責任において行うこと。
- 8 津波等被災地および被災者に対する復興交付金等の運用は、申請行為をはじめ弾力的に対処すること。
- 9 放射線の検査体制の確立と、治療、研究等ができる県立専門病院を設置すること。  
また、二次救急、三次救急の受入れ支援体制を県の責任において早急に整備すること。
- 10 双葉郡内住民の雇用の場の確保のため、新エネルギー(太陽光、風力、バイオマス)機器製作工場を町内に誘致すること。  
また、復興工業団地を造成するなど具体的な立地環境の整備をはかること。
- 11 広野町を管轄する県出先機関を、南相馬市からいわき市に設置されている県出先機関の管轄内に組み入れること。



佐藤知事に要望書を手渡す鈴木議長

【県関係要望書提出先】

福島県知事

佐藤雄平

総務部長

村田文雄

企画調整部長

野崎洋一

生活環境部長

荒竹宏之

保健福祉部長

佐藤節夫

商工労働部長

斉須秀幸

農林水産部長

鈴木義仁

土木部長

原利弘

市町村復興支援担当理事

斉藤隆

原子力損害対策担当理事

鈴木正晃



# ま ちかど インタビュー

## あれから1年 避難指示解除へ 戻れる人から段階的に町への帰還が始まる

東日本大震災と原子力災害の影響により、約1年の間、全町民に発令されていた避難指示が解除されました。

町では、避難指示解除に向けた住民懇談会を実施し、今後の対応や帰還などについて、一定の方針を示しました。

そこで、避難指示の解除や帰還に関して、感じたことや行政に望むことなどを伺いました。



太田忠義さん  
(下北迫・東町)

原発事故の対応には、長い年月がかかると思います。3月31日には町での避難指示が解除されましたが、広野町全域の除染が終わってからは、早く安心して帰れる環境作りをお願いします。

なかつたかと思えます。住



犬塚富佐子さん  
(下北迫・苗代替)

住民懇談会や除染説明会に出席し、帰還に向け1歩ずつ前進しているように感じました。

行政への要望は、モニタリングポストによる目に見える安心。帰還に不安を持っている町民への勉強会や講演会を長期的に行ってほしい。また、想定外の事態に対応できる防災体制を日頃から整える必要があると思っています。町にたくさん笑顔が戻る日を願っています。

### 編集後記

あれから一年過ぎました。ロウバイ、マンサク、サンシユ、レンギョウと可愛い花が次々と咲いてくる。早春を彩る草木に黄色が多いのは、花粉を運ぶハチが敏感に反応するからと言われています。続いて春を代表する淡いピンクのソメイヨシノがそこかしこに咲きほころび、思い返してみると昨年の桜はいつ咲き、いつ散つたのか記憶がない。季節が巡れば花はかならず咲くけれど、私達人間には感情がある。復興元年と言われる今年、帰るべきか、帰らざるべきか気持ちは千々に乱れている人もいます。



(塩 史子)

- 発行・編集責任者 議長 鈴木紀昭
- 委員長 渡邊正俊
- 副委員長 北郷幹夫
- 委員 塩 史子
- 委員 渡辺久長
- 委員 遠藤 智
- 委員 畑中大子
- 委員 小磯利雄

次の定例会は6月です

